

## 英語

### I

#### ■出題のねらい

留学時代に知り合った友人同士のあいだで交わされる日常的な会話を題材とした問題です。口語的な会話表現や、会話内容についての理解ができているかが問われています。

#### ■採点講評

全般的にあまり正答率は高くありませんでした。会話表現や状況文脈を読み解く力を身につけましょう。二人がどうやって出会ったのかという質問に対する答え  の正答は④ They were classmates in a school in California. ですが、① They studied together to get into college. と答えた受験者がかなり多くいました。文脈から状況をしっかりつかむことが必要です。

### II

#### ■出題のねらい

博物館のフロアプランと施設案内の英文を読んで、情報が正確につかめているかを問う問題です。

#### ■採点講評

全般的によくできていました。位置情報を表すには前置詞の使い方に習熟する必要がありますが、コインロッカーの位置に対する質問の答え  もよくできていました。

### III

#### ■出題のねらい

全般的によくできていました。数学の基礎的な概念などについて英語で書かれた教科書から、説明されている内容が正確につかめているかを問う問題です。

#### ■採点講評

比較的よくできていました。最初の問題  の正答率が少し低かったようですが、place value が数字の位を表していることは、文脈から理解できるはずです。

## IV

### ■出題のねらい

「自己イメージ」が人間の行動に及ぼす影響について書かれた英文の内容理解を問う問題です。英文読解のための基礎的な語彙や文法の知識に基づいて、段落ごとに述べられている趣旨をつかみながら、全体として何を伝えているのかを理解することが大切です。

### ■採点講評

全般的にあまり高い正答率ではありませんでした。普段から英字新聞の記事など、ある程度まとまった分量の英文を読み、段落ごとの意味をつかみながら、全体として何が言いたいのかを論理的に理解する習慣をつけましょう。とくに正答率が低かったのは前後の文の接続関係を問う問題  で、① **at all** と答えた受験者が多かったですが、ここは「自己イメージ」に捕われるあまり、その縛りから離れて（それ以外の）行動はできないという意味で、③ **otherwise** が正答となります。

## V

### ■出題のねらい

ホンネとタテマエという日本文化の特色を話題とする英文を基にした、語句整除による英作文問題です。単に機械的に語を並べ替えるのではなく、前後の文脈を理解して、的確な文を自分で作ることができるようにすることが大切です。

### ■採点講評

全般的にあまりよい正答率ではありませんでした。とくに正答率が低かったのは  で、ここでは動名詞の使い方が決め手となります。該当部分の正しい語の並び方は、次のようになります。

⑤ **what** ① **he** ⑥ **really** ② **thinks** ④ **is**

⑤ **concealing** ① **the** ⑥ **truth** ② **may** ④ **be**

① **for** ⑥ **fear** ⑤ **of** ④ **hurting** ③ **people's**